

2009年5月7日
mail ニュース
33・通巻224号

自治労連 都庁職

自治労連都庁職員
労働組合
発行人 米山隆史
TEL 03-5381-0250

5・3 憲法集会(日比谷公会堂&銀座パレード) 4200人で「生かそう憲法輝け9条」

憲法が施行されてから62年を迎えた5月3日、全国各地で多彩な集会や行動が開かれましたが、東京では憲法会議など8団体で構成する実行委員会が「憲法集会」を日比谷公会堂で開催しました。

会場に入りきれずに外でオーロラビジョンを観るようになった人を加えると、4200人が参加しました。

憲法改悪阻止各界連絡会議の柴田真佐子さんの主催者挨拶の後、第一部としてまず、落合恵子さんがスピーチを行いました。

落合さんといえば、若いころはラジオの文化放送で人気だったセイ・ヤングのパーソナリティとして有名となり、その後クレヨンハウスを主宰し今日に至っていますが、10年近く認知症の母親を介護し、看取ったことでも知られています。

最近真っ白となった髪が「怒髪天を衝く」ようで、ザンバラとしていますが、この日もその髪型で現れ、その訳を「怒っているから」とちょっとだけ話されました。今、「自己責任」という言葉が幅を利かせているが、私たちは「健康で文化的な生活を営む権利を持っているはずだ」と語り、憲法を守ることの大切さについて強調しました。

続いてノーベル物理学賞を受賞した益川敏英さんが、ソマリアへの派兵問題などにも触れながら、憲法9条に対する日本人の思いの強さから考えると、改憲派はやけどをすと思うと語りました。

アイヌ民族の音楽と踊りをはさんで、第二部は政党代表からのスピーチでした。最初に社民党党首の福島みずほさんが、平和 基本的人権 政治を変える の3点についてお話をされました。

その後、日本共産党の志位委員長が、「核兵器廃絶と憲法9条」を題して、4月5日にオバマ大統領がプラハで行った演説は大変重要であり、28日に早速書簡を携え、アメリカ大使館をはじめ訪問した、と述べました。ただ、オバマ大統領は「私の生きているうちは無理」と言っていることに対しては、「取り組む前から言うのは、気が早い」として、「同意できない」と率直に述べたと語りました。そして、麻生・自公政権が、アメリカの「変化」に目が行かず、「変化」していない部分ではアメリカの言いなり政治をつづけていることを強く非難しました。

スピーチが終わると、「平和を実現するキリスト者ネット」の毛利さんが集会アピールを提案し、採択した後、銀座パレードを行い、旧都庁第3庁舎跡地近くで解散しました。

また、会場でカンパを行い、130万円が集まりました。